

07.06 「基本計画」 『箕面らしさ』

政策 12 自然・歴史 施策 2 1 森林・緑・河川 越智さん受信から

提言シート 『自然環境の保全 森林・緑・河川』

1、目指す姿

- ・森を育て農産物被害を抑えながら人と共存する天然記念物ニホンザル、イノシシ・シカの安定的な保護を図る。
- ・サンショウウオやホタル、チョウなど昆虫の生息森林育成をすすめ豊かな緑と溪流の保全・再生(豊かな森作り) 森を「宝の持ち腐れ」にしないで「宝の山」に 自然体験の観光資源とする。

2. 指 標

- ・自然緑指定同意面積 ; (合計農地面積 220ha の維持)
- ・有害獣被害面積 ;
2002(H14)年;46 ha 2007(H19)年;72 ha 2020年; ? ha
- ・ニホンザル、イノシシ、シカ、別個体数標準値策定と 適宜捕獲数、生息地移動
- ・ホタル・サンショウウオ 個体数管理 自然体験観光客 20%増

3. 現状と課題

- ・身近な野生生物などに、気象変動の影響と見られる豊かな森の生息環境の急速な変化が始まっている。
- ・天然記念物ニホンザル、イノシシ・シカの安定的な保護 = 「個体数管理」「生息環境管理」
- ・但し止々呂美や山麓付近のイノシシ・シカなどによる農作物被害が増えており、防除対策の推進。「被害管理」との調和を図る必要がある。
- ・森林開発を調整制御し、森林育成をすすめ豊かな緑と溪流の保全・再生プラン(豊かな森作り)でサンショウウオやホタル、など昆虫の生息を図る。

4、取組・役割分担

(1)市民等が取り組むこと

- ・ニホンザル、イノシシ、シカの「個体数管理」や「生息環境管理」、及び「被害管理」による被害防除対策をすすめ、 安定的な保護。
- ・ホタル、チョウなど昆虫の棲息も含めた、動・植物保全再生プラン
NPO 例： 箕面ホタルを守る会。各地河川アドプト 等他拡大増強支援

- ・イノシシ、シカなどの被害防止計画を協働で策定、鳥獣捕獲や防護柵設置を具体的に計画。
- ・河畔ホタル再生保護 「ホタル条例」策定（05案検討経緯有り）

(2)市民等・行政が協働して取り組むこと

- ・「鳥獣被害対策実施隊」の定期活動と 改正鳥獣保護法(99)・鳥獣被害防止特措法の農林業被害者への支援業務、防護柵・新設補強への資金支援します。
- ・ニホンザル：箕面山猿保護管理委員会による保護管理継続。教育委員会などが配布している 箕面滝観光客等への配布チラシ“サルへ食べ物をみせないで、食べ物を与えないで、近寄らないで”継続。学識関係者との連携でサル群れの山域移動。サル野生保護成功モデル目標とします。

6.まちづくりの効果

- ・野生生物の被害抑制を図りながら保護共生された自然体験（観光）が活発になり、箕面の良さを生かしたまちづくりに寄与します
- ・森林・農地が確保・再生することにより、「二酸化酸素吸収」、「表面侵食の防止」や「集中豪雨時の洪水の緩和」などの働きもあり、野生生物も保護され、景勝地として景観保持に繋がります。